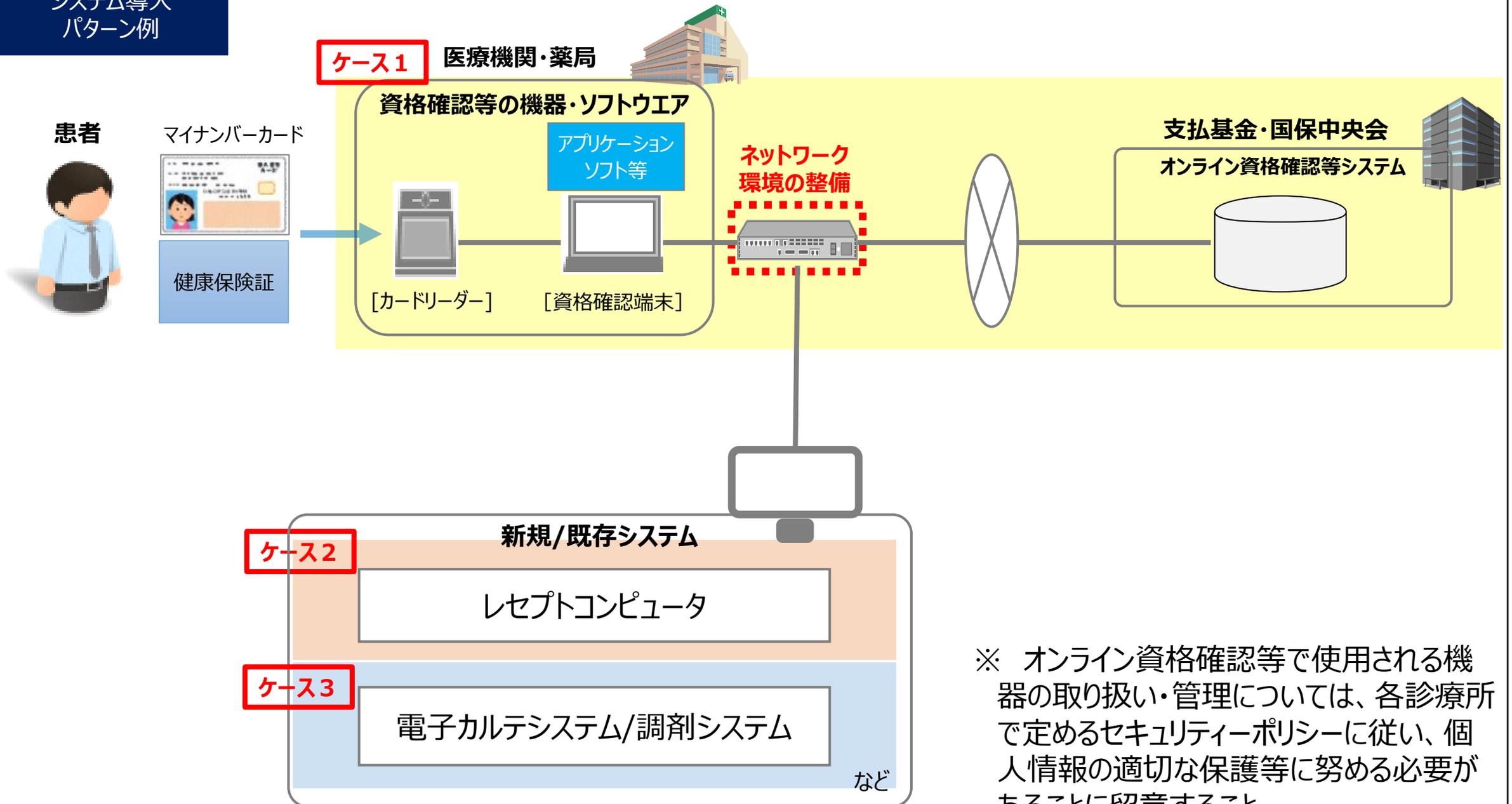


- ネットワーク環境が未整備の診療所においては、主に以下のオンライン資格確認システム関連の導入パターンがある。
- ケース3に近いほど、診療や事務業務を効率的に行うことができるようになる。

- ケース1：オンライン資格確認システムのみを導入
- ケース2：ケース1 + レセプトコンピュータを導入
- ケース3：ケース2 + 電子カルテを導入

システム導入パターン例



※ オンライン資格確認等で使用される機器の取り扱い・管理については、各診療所で定めるセキュリティーポリシーに従い、個人情報適切な保護等に努める必要があることに留意すること

レセプトコンピューターまたは電子カルテを導入していない場合

ケース	費用	メリット				
1 オンライン資格確認システムのみ導入	<ul style="list-style-type: none"> 顔認証付きカードリーダー導入費用 無償配布 オンライン資格確認端末導入費用 一部補助金あり 回線導入費用 一部補助金あり ネットワーク機器（ルーター等）導入費用 など 一部補助金あり 	<ul style="list-style-type: none"> ○ マイナンバーカードを保険証として使用したいという患者を受け入れ可能となる ○ 最新の資格情報を取得できる。ただし、レセコンを導入していない場合、最新の資格情報を手書きでレセプトに記入する必要がある ○ 最新の資格情報をその場で確認できるため、レセプト返戻が減り、窓口業務が削減される ○ 限度額適用認定証等を医療機関で取得可能になり、患者に限度額以上の医療費を負担いただくことなく済むようになる ○ 薬剤情報・特定健診情報を資格確認端末または印刷することで閲覧可能となる ○ 災害時には、マイナンバーカードによる本人確認ができなくても、薬剤情報・特定健診情報を閲覧することができる 				
2 オンライン資格確認 + レセコンの導入	ケース 1 に加えて、 <ul style="list-style-type: none"> レセコン改修又は導入費用 オン資との接続に係る費用は補助金あり 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>レセコンのメリット</th> <th>オン資との接続メリット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 技術料や加算の自動算定 ○ 患者の負担金の自動算定 </td> <td> ケース 1 に加えて、 <ul style="list-style-type: none"> ○ 最新の資格情報をレセプトに自動反映することができる ○ 予約患者の保険証情報を事前に一括照会することができる </td> </tr> </tbody> </table>	レセコンのメリット	オン資との接続メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術料や加算の自動算定 ○ 患者の負担金の自動算定 	ケース 1 に加えて、 <ul style="list-style-type: none"> ○ 最新の資格情報をレセプトに自動反映することができる ○ 予約患者の保険証情報を事前に一括照会することができる
レセコンのメリット	オン資との接続メリット					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術料や加算の自動算定 ○ 患者の負担金の自動算定 	ケース 1 に加えて、 <ul style="list-style-type: none"> ○ 最新の資格情報をレセプトに自動反映することができる ○ 予約患者の保険証情報を事前に一括照会することができる 					
3 オンライン資格確認 + レセコン + 電子カルテの導入	ケース 2 に加えて、 <ul style="list-style-type: none"> 電子カルテ改修又は導入費用 オン資との接続に係る費用は補助金あり 	<table border="1"> <thead> <tr> <th>電子カルテのメリット</th> <th>オン資との接続メリット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> ○ 紙媒体の保管不要 ○ 同時に複数人閲覧可能 ○ 文字の判別が明快に </td> <td> ケース 2 に加えて、 <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定健診・薬剤情報を電カルを通して診察室等で閲覧することが可能となる ○ 患者が新たな保険証を持参しても、過去の被保険者番号に紐づく患者情報と、瞬時に紐付けできる </td> </tr> </tbody> </table>	電子カルテのメリット	オン資との接続メリット	<ul style="list-style-type: none"> ○ 紙媒体の保管不要 ○ 同時に複数人閲覧可能 ○ 文字の判別が明快に 	ケース 2 に加えて、 <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定健診・薬剤情報を電カルを通して診察室等で閲覧することが可能となる ○ 患者が新たな保険証を持参しても、過去の被保険者番号に紐づく患者情報と、瞬時に紐付けできる
電子カルテのメリット	オン資との接続メリット					
<ul style="list-style-type: none"> ○ 紙媒体の保管不要 ○ 同時に複数人閲覧可能 ○ 文字の判別が明快に 	ケース 2 に加えて、 <ul style="list-style-type: none"> ○ 特定健診・薬剤情報を電カルを通して診察室等で閲覧することが可能となる ○ 患者が新たな保険証を持参しても、過去の被保険者番号に紐づく患者情報と、瞬時に紐付けできる 					

(注) 補助金申請は 1 回のみ可能です。すべての費用明細がそろった後、まとめて申請ください。